

食材のその他の安全分析等の情報 H28-第2号

～自社分析(重金属、防かび剤、着色料)の結果について～

11月度・その他の安全分析結果(ご報告)

☆重金属分析☆

重金属については、健康への影響が懸念されている事から、商品本部が新規に取り扱い検討している食材、及び商品本部が取り扱っている食材を対象に、総合科学新潟研究所が2品目を指定(品目・産地)して重金属分析を行いました。

分析の結果、重金属は検出されず、安全性が確認されました。

☆防カビ剤分析☆

商品本部が取り扱っている食材を対象に、総合科学新潟研究所が4品目を指定して防カビ剤の分析を行った結果、4品目とも、防カビ剤は検出されず、安全性が確認されました。

☆着色料分析☆

商品本部が取り扱っている食材を対象に、総合科学新潟研究所が2品目を指定して着色料の分析を行った結果、発がん性等が指摘されているタール系合成着色料の検出はなく、大庄基準が守られていることを確認致しました。

庄やグループのお店で、安心して飲食を楽しんでいただきたいと思います。

<参考>

【重金属分析】

- 重金属分析は、ヒ素、水銀、カドミウム、鉛を対象とし、ICP 発光分光分析法により分析を行っています。
- 重金属については、食品に対する国内の基準がないものも多いため、健康への影響を考慮し、国際的な基準に照らし、安全性を確認します。

【防カビ剤】

- 防カビ剤分析は、国内で認められている7種類(オルトフェニルフェノール、イマザリル、チアベンダゾール、ジフェニル、ピリメタニル、フルジオキシニル、アゾキシストロビン)を対象とし、ガスクロマトグラフ質量分析による一斉分析を行っています。
- 防カビ剤は、輸入かんきつ類等に多く使用されていて、大量に摂取すると健康への影響が懸念されていることから、食品添加物の残留基準に照らし、基準を超えていないかを確認します。

【着色料】

- 国内で使用できる12種類のタール系合成着色料を測定対象として、薄層クロマトグラフィーにより確認をしています。
- タール系合成着色料は、国内では使用が許可されていますが、発がん性等の安全性に懸念があることから、大庄食品添加物基準では、使用不可としています。取り扱い食品からは、排除していますが、混入がないことを確認するため、調査します。

この報告書は、大庄総合科学新潟研究所がとりまとめております。

分析データ

1 食材の重金属分析結果

分析 株式会社大庄 総合科学新潟研究所

| No. | 品目名 | 産地 | 重金属 | | | |
|-----|-------------|----------|------|-------|------|------|
| | | | ヒ素 | カドミウム | 水銀 | 鉛 |
| 1 | 米(平成 28 年産) | 新潟 | 検出せず | 検出せず | 検出せず | 検出せず |
| 2 | キウイフルーツ | ニュージーランド | 検出せず | 検出せず | 検出せず | 検出せず |

2 食材の防カビ剤分析結果

分析 株式会社大庄 総合科学新潟研究所

| No. | 品目名 | 産地 | 防カビ剤 | | |
|-----|---------|----------|--------|---------------|----------------|
| | | | 検出防カビ剤 | 分析値 (g/kg) | 使用基準 (g/kg) |
| 1 | アボカド | メキシコ | 検出せず | | |
| 2 | いちご | アメリカ | 検出せず | | |
| 3 | キウイフルーツ | ニュージーランド | 検出せず | | |
| 4 | バナナ | フィリピン | 検出せず | | |

※分析対象防カビ剤 7 種：オルトフェニルフェノール、イマザリル、チアベンダゾール、ジフェニル、ピリメタニル、フルジオキシニル、アゾキシストロビン

3 食材の着色料分析結果

分析 株式会社大庄 総合科学新潟研究所

| No. | 品目名 | 加工地 | タール系合成着色料 |
|-----|---------------------|-----|-----------|
| 1 | フルーツソース (ブルーベリー) | 日本 | 検出せず |
| 2 | ノンオイルドレッシング(梅) | 日本 | 検出せず |

※分析対象着色料 12 種：赤色 2 号、赤色 3 号、赤色 40 号、赤色 102 号、赤色 104 号、赤色 105 号、赤色 106 号、黄色 4 号、黄色 5 号、緑色 3 号、青色 1 号、青色 2 号